

Dell™ 1420X/1430X

プロジェクタ

ユーザーズガイド

## 注意、警告、危険



**注意:**「注意」は、プロジェクトの使用に際して役立つ重要な情報です。



**警告:**「警告」は、ハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。



**危険:**「危険」は、物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2011 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：*Dell*および *DELL* ロゴは Dell Inc. の商標です。*DLP*および *DLP* ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。*Microsoft*および *Windows* は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル 1420X/1430X

2012年2月 改訂 A00

# 目次

1	プロジェクタについて	5
	プロジェクタについて	6
2	プロジェクタの接続	8
	コンピュータへの接続	9
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	9
	VGA ケーブルを使用してループする一接続 をモニタしてください	10
	<b>DVD</b> プレーヤーの接続	11
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	11
	コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	12
	コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	13
3	プロジェクタの使用方法	14
	プロジェクタの電源を入れる	14
	プロジェクタの電源を切る	14
	投影画像の調整	15
	プロジェクタの高さを上げる	15
	プロジェクタの高さを下げる	15

プロジェクトのズームとフォーカスの調整 . . . . .	16
投影画像サイズの調整 . . . . .	17
コントロールパネルの使用方法 . . . . .	19
リモコンの使用方法 . . . . .	21
リモコンのバッテリーの挿入 . . . . .	23
リモコンの操作範囲 . . . . .	24
オンスクリーン ディスプレイの使い方 . . . . .	25
入力源 . . . . .	25
自動調整 . . . . .	26
輝度 / コントラスト . . . . .	27
ビデオモード . . . . .	28
音量 . . . . .	28
詳細設定 . . . . .	29
言語 . . . . .	43
ヘルプ . . . . .	43
4 プロジェクタのトラブルシューティング . . . . .	44
ガイド信号 . . . . .	48
ランプの交換 . . . . .	50
5 仕様 . . . . .	52
6 Dell へのお問い合わせ . . . . .	58
7 付録：用語集 . . . . .	59

## プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell までご連絡ください。

---

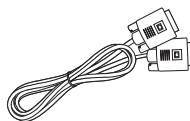
### 同梱されているもの

---

電源ケーブル



1.8 m VGA ケーブル (VGA - VGA)



リモコン (電池付き)

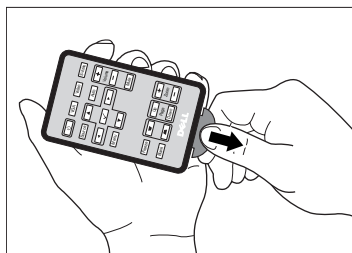


CD ユーザーガイドおよびドキュメント



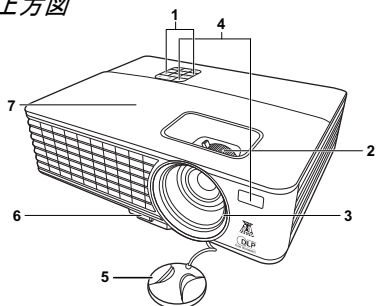
---

リモコンをご使用になる前に、つまみを引いてください

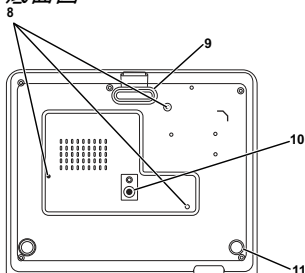


## プロジェクタについて

上方図



底面図



1	コントロールパネル
2	ズームタブとフォーカスリング
3	レンズ
4	IR レシーバ
5	レンズキャップ
6	クイックリリースボタン
7	ランプカバー
8	取付ホール (天吊り用) ねじ穴 M3 x 4.6mm 深度。 推奨トルク <8 kgf-cm
9	正面アジャスタフット
10	取付ホール (三脚用) : インサートナット 1/4"×20 UNC
11	傾斜調整ホイール

### **⚠ 危険 : 安全上のご注意**

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 0 °C ~ 35 °C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。

- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。

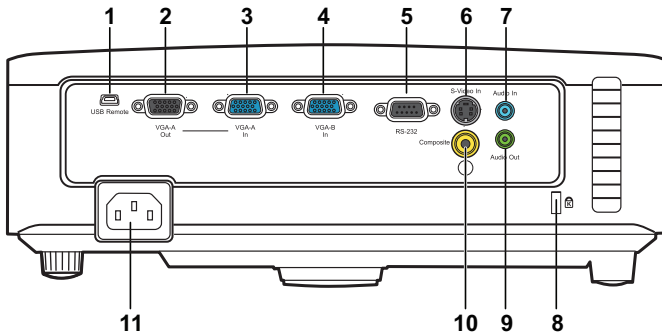


#### メモ：

- お客様自身でこのプロジェクタの天井取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ天井取り付けキット (P/N: C4504)。詳細については、Dell サポート Web サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。

# 2

## プロジェクトの接続



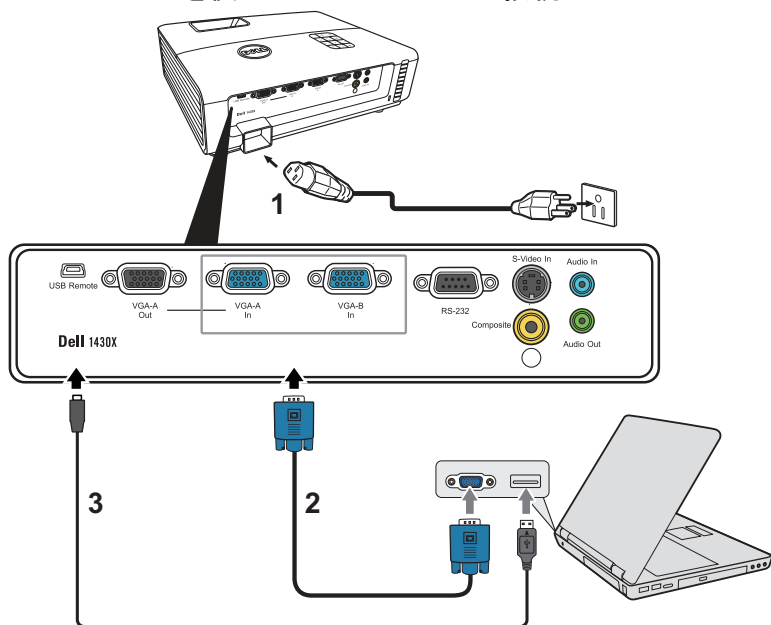
1	Mini USB (タイプ B) リモート コネクタ	7	オーディオ入力コネクタ
2	VGA-A 出力 (モニターループスルー)	8	セキュリティケーブルスロット
3	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ	9	オーディオ出力コネクタ
4	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ	10	コンポジットビデオコネクタ
5	RS232 コントロールポート	11	電源コードコネクタ
6	S ビデオコネクタ		

**⚠ 危険**：この章で説明する交換処理の前に、ページ 6にある「安全上のご注意」をお読みください。



# コンピュータへの接続

## VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB-A - Mini USB-B ケーブル

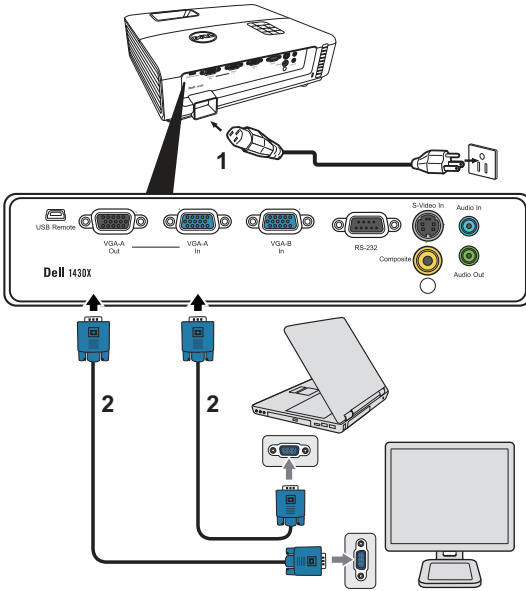


**メモ** : Mini USB-B ケーブルは付属していません。



**メモ** : リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、Mini USB-B ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニターしてください

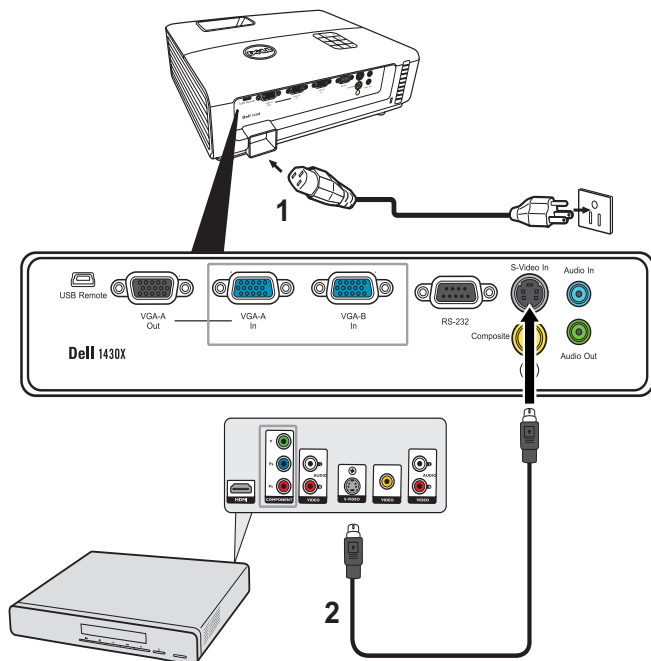


1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル

**メモ:** プロジェクタにはVGA ケーブル1本のみが付属しています。追加のVGA ケーブルは、Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) でご購入いただけます。

# DVD プレーヤーの接続

## S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

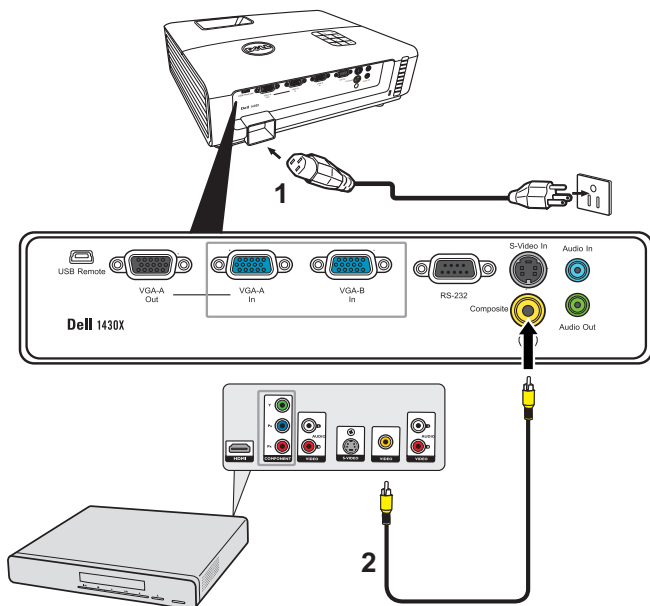


1	電源コード
2	S ビデオケーブル



**メモ** : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com).) で S ビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

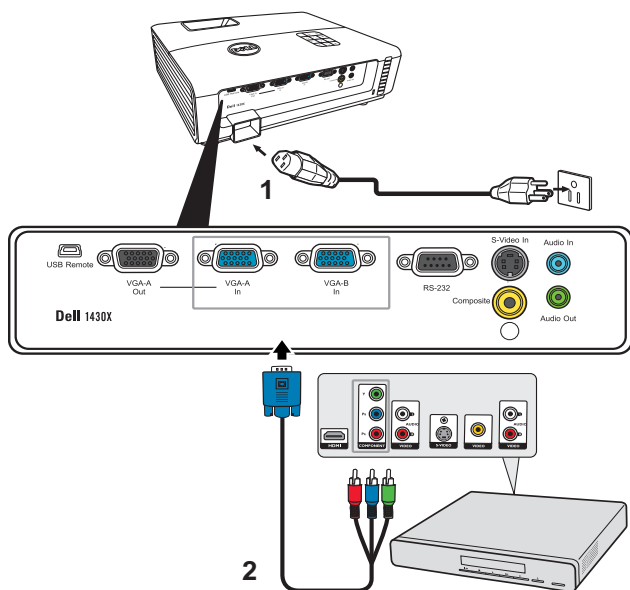


1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル



**メモ:** コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) でコンポジットビデオ延長 (1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続




1	電源コード
2	VGA - コンポーネントビデオケーブル



**メモ** : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。  
Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で VGA - コンポーネントビデオ延長  
(1,524.00 cm/3,048.00 cm) ケーブルをお買い求めいただけます。


# プロジェクタの使用方法

## プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクタの接続については、8 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、19 ページの「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 5 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、8 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 6 デフォルトで、入力ソースはVGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 7 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、19 ページの「コントロールパネルの使用方法」と 21 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください。

## プロジェクタの電源を切る

 **危険:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします」というメッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 60 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

**メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで60秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

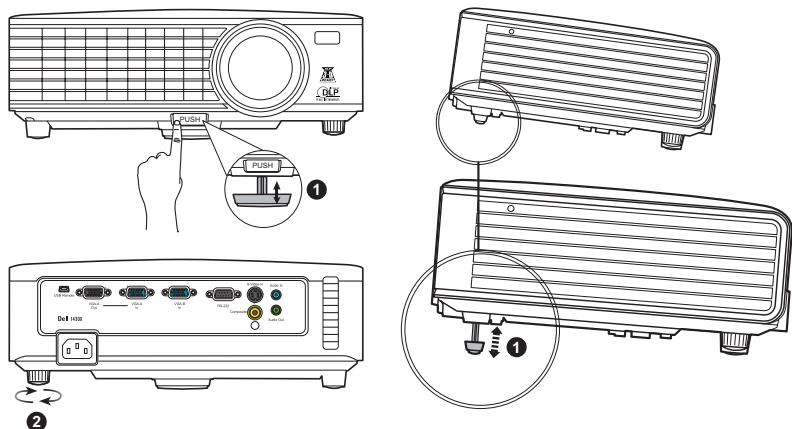
## 投影画像の調整

### プロジェクタの高さを上げる

- 1 プロジェクタを任意の高さまで上げ、クイックリリース ボタンを押します。
- 2 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

### プロジェクタの高さを下げる

- 1 クイックリリース ボタンを押しながらプロジェクタを持ち上げ、その後ゆっくりとプロジェクタを下します。次に傾斜調整ホイールでディスプレイ角度を調整してください。

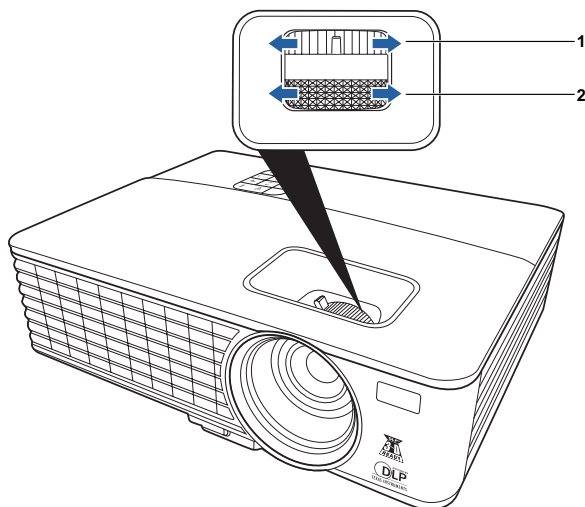


1	正面アジャスタフット (傾きの角度：0～6度)
2	傾斜調整ホイール

## プロジェクタのズームとフォーカスの調整

**⚠ 危険:** プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

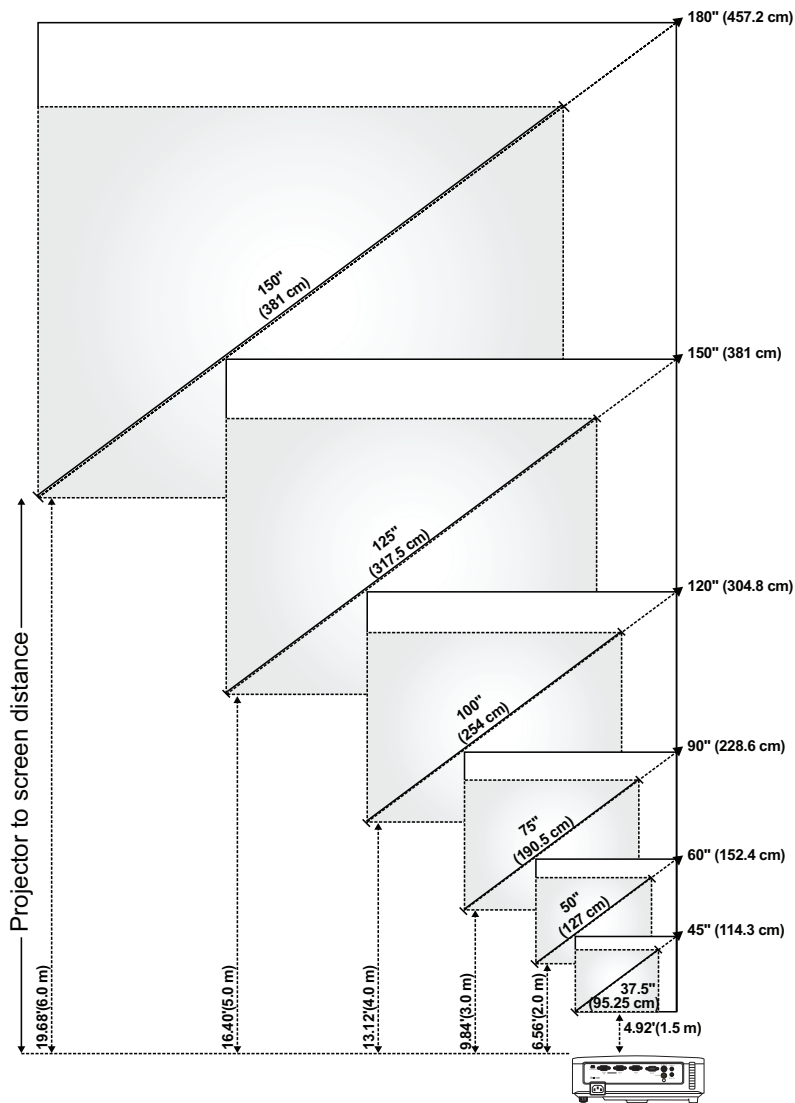
- 1 ズームタブを回して拡大または縮小します。
- 2 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 3.28 ft ~ 26.24 ft (1 m ~ 8 m) です。



1	ズームタブ
2	フォーカスリング

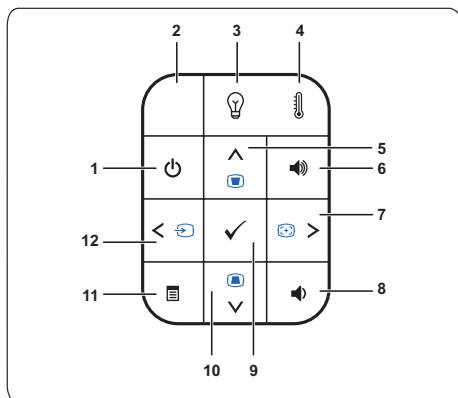


# 投影画像サイズの調整












画面 (対角 線)	最大	45" (114.3 cm)	60" (152.4 cm)	90" (228.6 cm)	120" (304.8 cm)	150" (381 cm)	180" (457.2 cm)
	最小	37.5" (95.25 cm)	50" (127 cm)	75" (190.5 cm)	100" (254 cm)	125" (317.5 cm)	150" (381 cm)
画面 サイズ	最大 (幅 x 高さ)	36" X 27"	48" X 36"	72" X 54"	96" X 72"	120" X 90"	144" X 108"
		(91.44 cm X 68.58 cm)	(121.92 cm X 91.44 cm)	(182.88 cm X 137.16 cm)	(243.84 cm X 182.88 cm)	(304.8 cm X 228.6 cm)	(365.76 cm X 274.32 cm)
	最小 (幅 x 高さ)	30" X 22.5"	40" X 30"	60" X 45"	80" X 60"	100" X 75"	120" X 90"
		(76.2 cm X 57.15cm)	( 101.6cm X 76.2cm)	(152.4 cm X 114.3 cm)	(203.2 cm X 152.2 cm)	(254 cm X 190.5 cm)	(304.8 cm X 228.6 cm)
Hd	最大	29.7" (75.44 cm)	39.6" (100.58 cm)	59.4" (150.88 cm)	79" (201.17 cm)	99" (251.46 cm)	118.8" (301.75 cm)
	最小	24.75" (62.87 cm)	33" (83.82 cm)	49.5" (125.73 cm)	66" (167.64 cm)	82.5" (209.55 cm)	99" (251.46 cm)
投影距離		4.92' (1.5 m)	6.56' (2.0 m)	9.84' (3.0 m)	13.12' (4.0 m)	16.40' (5.0 m)	19.68' (6.0 m)
* この表はユーザーの参照用です。							

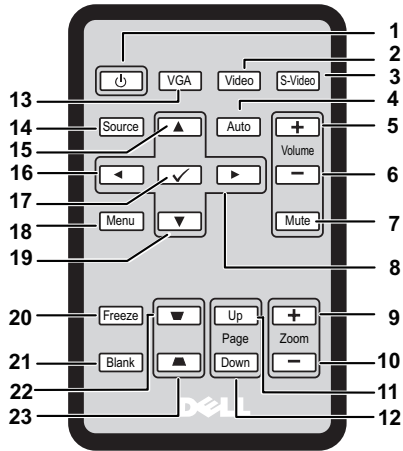
## コントロールパネルの使用方法













- |   |          |  |
|---|----------|--|
| 1 | 電源       | プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、14 ページの「プロジェクタの電源を入れる」および 14 ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。  |
| 2 | IR レシーバ  | リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。   |
| 3 | ランプ警告ライト | LAMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ランプがその耐用年数の終わりに達した</li><li>• ランプモジュールを適切に取り付けていない</li><li>• ランプドライバが故障している</li><li>• カラーホイールが故障している</li></ul> 詳しくは、44 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 48 ページの「ガイド信号」を参照してください。 |
| 4 | 温度警告ライト  | TEMP の黄色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• プロジェクタの内部温度が高すぎる</li><li>• カラーホイールが故障している</li></ul> 詳しくは、44 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 48 ページの「ガイド信号」を参照してください。   |

5	上  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-40 度)。
6	ボリュームを上げる 	ボリュームを上げます。
7	右  / 自動調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。  <b>メモ</b> : オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、 <b>自動調整</b> は作動しません。
8	ボリュームを下げる 	ボリュームを下げます。
9	エンター 	このボタンを押して選択項目を確定します。
10	ダウン  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+40/-40 度)。
11	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。方向キーとメニューボタンで OSD をナビゲートします。
12	左  / ソース	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。 複数ソースがプロジェクタに接続されている場合には、このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、S ビデオソースを切り替えます。

# リモコンの使用方法



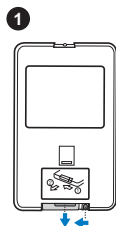
1	電源	プロジェクトの電源をオン/オフにします。詳細は、14 ページの「プロジェクトの電源を入れる」と 14 ページの「プロジェクトの電源を切る」をご覧ください。
2	ビデオ	コンポジット ビデオ ソースが選択されます。
3	S ビデオ	S ビデオ ソースが選択されます。
4	自動調整	プロジェクトと入力ソースが同期されず。OSD が表示されているときには自動調整は行えません。
5	ボリュームを上げる	ボリュームを上げます。
6	ボリュームを下げる	ボリュームを下げます。
7	ミュート	プロジェクトのスピーカーを無音または無音解除します。
8	右	オンスクリーンメニュー (ISD) のアイテムをナビゲートします。
9	ZOOM+	画像を拡大します。
10	ZOOM-	画像を縮小します。

11	ページを上げる 	前のページに戻ります。  <b>メモ:</b> この機能を使用するには、Mini USB-B ケーブルを使用する必要があります。
12	ページを下げる 	次のページに進みます。  <b>メモ:</b> この機能を使用するには、Mini USB-B ケーブルを使用する必要があります。
13	VGA	VGA ソースを使用します。
14	ソース	アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 使用)、S ビデオソースを切り替えます。
15	上へ 	オンスクリーンメニュー (ISD) のアイテムをナビゲートします。
16	左 	オンスクリーンメニュー (ISD) のアイテムをナビゲートします。
17	Enter 	選択を確定します。
18	メニュー	OSD を有効にします。
19	下へ 	オンスクリーンメニュー (ISD) のアイテムをナビゲートします。
20	静止	スクリーンの画像を静止させます。
21	消画	画像を隠す / 表示します。
22	キーストーン調整 	プロジェクタの歪みによる画像の傾斜を調整します (+40/-40 度)。
23	キーストーン調整 	プロジェクタの歪みによる画像の傾斜を調整します (+40/-40 度)。

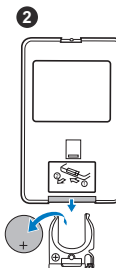
## リモコンのバッテリーの挿入

**メモ:** リモコンを使用しない時には、リモコンからバッテリーを取り出しておきます。

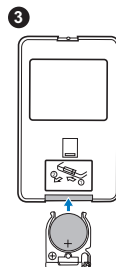
1 ロック用つまみを押しながらバッテリーホルダーを引き出します。



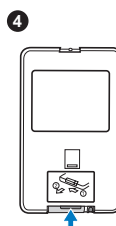
2 バッテリーに記載されている極性 (+/-) を確認してください。



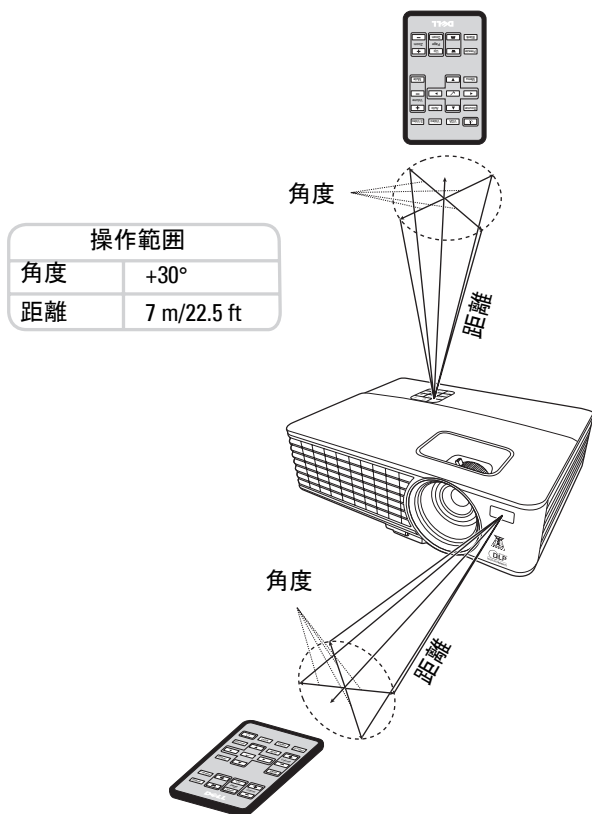
3 バッテリーを挿入し、バッテリー格納庫に記載されている極性表示に従って正しく揃えます。




4 バッテリーホルダーを戻します。












## リモコンの操作範囲



-  **メモ** : 実際の操作範囲は、表の数値よりも若干異なる場合があります。バッテリーの残量が少なくなった場合も、リモコンでプロジェクタを操作しにくくなります。



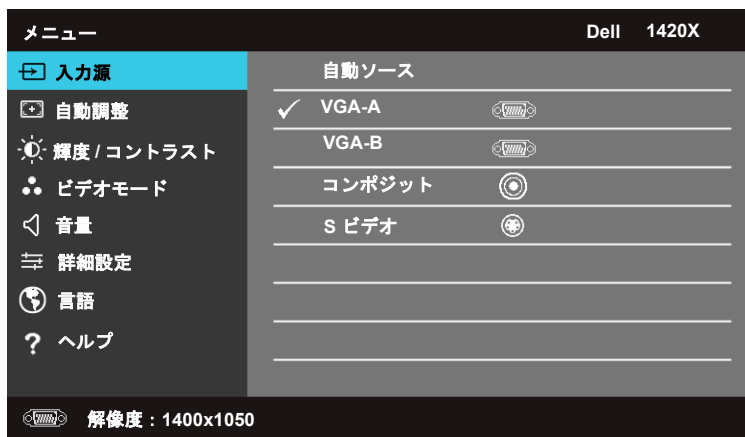
# オンスクリーン ディスプレイの使い方

- このプロジェクタには、入力ソースに表示または非表示にできるオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあります。
- メインメニューのタブをナビゲートするには、プロジェクタのコントロールパネルかリモコンで  ボタンか  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルかリモコンで  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルかリモコンで  ボタンか  ボタンを押します。すると色が濃い青に変わります。アイテムを選択すると、色が濃い青に変わります。
- 設定を調整するには、コントロールパネルかリモコンで  ボタンか  ボタンを押します。
- メインメニューに戻るには、コントロールパネルかリモコンの  ボタンを押します。
- OSDを終了するには、 ボタンを押すか、直接コントロールパネルかリモコンでメニューボタンを押します。

**メモ**：OSD 構造と設定は、1420X モデルおよび 1430X モデルと同じです。

## 入力源

プロジェクタの入力ソースを選択できる入力ソースメニューです。



**自動ソース** —現在の入力信号をロックするために **オフ**（デフォルト）を選択します。**自動ソース** モードが **オフ** に設定されているときに **Source** ボタンを押すと、手動で入力信号を選択することができます。**オン** を選択すると、

有効な入力信号を自動検出します。プロジェクタがオンのときにソース ボタンを押すと、次に有効な入力信号が自動的に検出されます。

**VGA-A**  を押すと VGA-A 信号が検出されます。

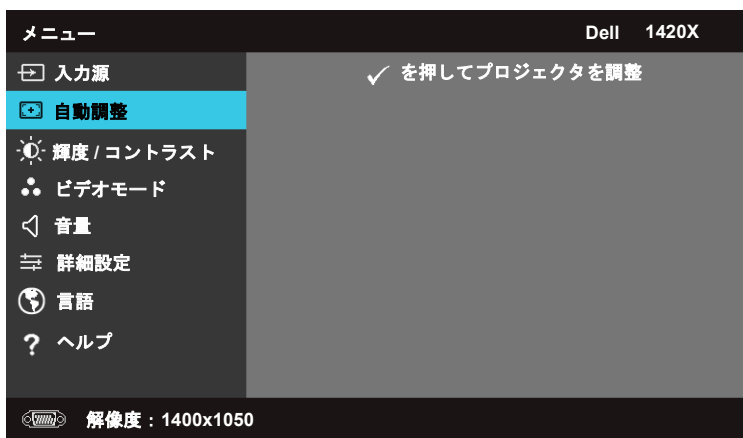
**VGA-B**  を押すと VGA-B 信号が検出されます。

**コンポジット**  を押すとコンポジット ビデオ信号が検出されます。

**S ビデオ**  を押すと S ビデオ信号が検出されます。

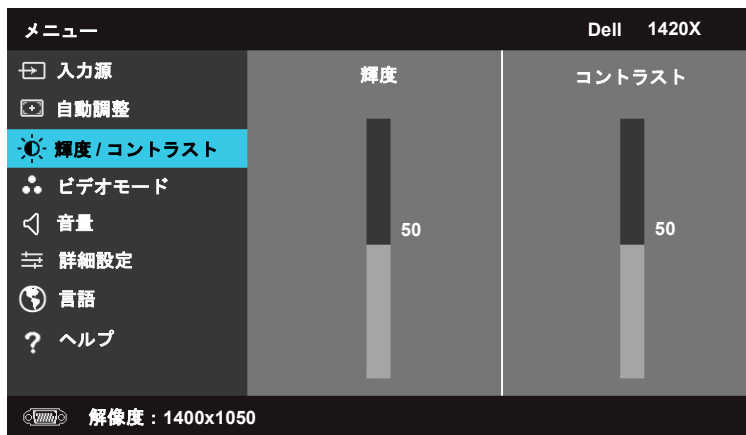
## 自動調整

自動調整はプロジェクタの**周波数**と**追跡**を PC モードで調整します。



## 輝度/コントラスト

輝度/コントラストメニューはプロジェクタの輝度/コントラスト設定を調整することができます。

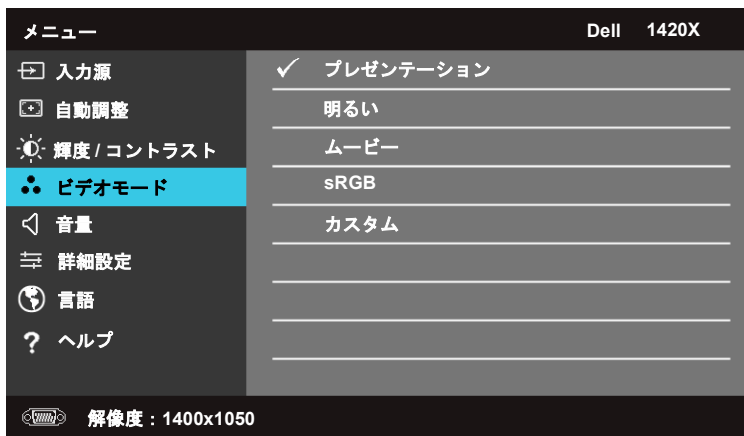


**輝度**— および  を使用すると、画像の輝度を調整できます。

**コントラスト**— および  を使用すると、画面のコントラストを調整できます。

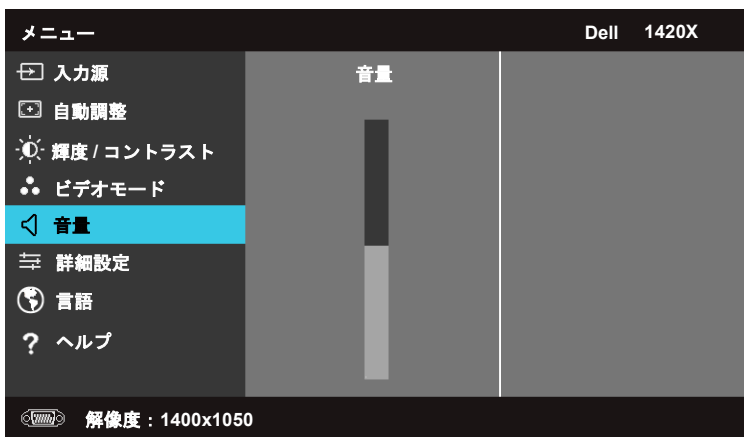
## ビデオモード

ビデオモードメニューはディスプレイ画像を最適化できます。**プレゼンテーション**、**明るい**、**ムービー**、**sRGB**（より正確な色を再生します）、および**カスタム**（好きな設定を行います）。



## 音量

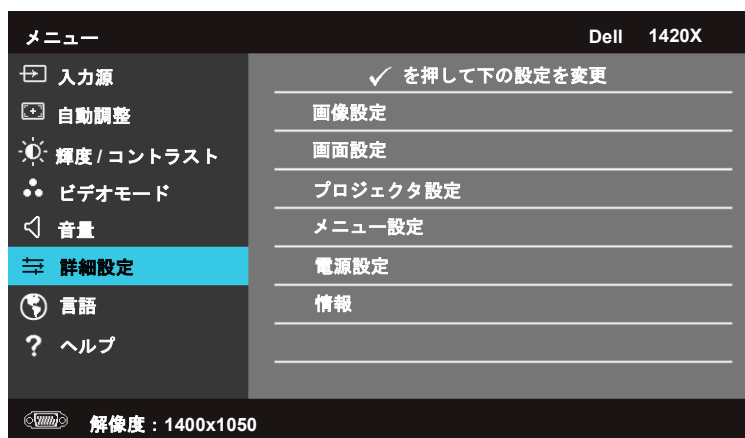
音量メニューでは、プロジェクタの音量を設定できます。



音量 —  を押すと音量が上がり、 を押すと音量が下がります。

## 詳細設定

詳細設定メニューでは、**画像**、**画面**、**プロジェクタ**、**メニュー**、**電源**、**情報**の設定を変更できます。



### 画像設定 (PC モード)

を押すと、画像設定が有効になります。画像設定メニューには、次のようなオプションがあります。




**色温度** —色温度を調整できます。色温度を高くすると画面は寒色に、低くすると暖色になります。**RGB カラーの調整** メニューで値を調整すると、カスタム モードが有効になります。この値はカスタム モードで保存されます。

**RGB カラーの調整**—赤、緑、青を手動で調整できます。

**白の密度**— および  を使用すると、白の密度を調整できます。

**カラースペース**—カラースペースを選択できます。選択肢は RGB、YCbCr、および YPbPr です。

**VGA 出力**—オン または オフ を選択すると、プロジェクタがスタンバイモードのときに VGA 出力機能を有効または無効にすることができます。デフォルトは オフ です。

 **メモ**：色温度、RGB カラーの調整、白の密度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムに切り替わります。

## 画像設定（ビデオモード）

を押すと、画像設定が有効になります。画像設定メニューには、次のようなオプションがあります。

詳細設定		Dell 1420X
画像設定	色温度	▶ 中
画面設定	RGB カラーの調整	▶ R: 50 G: 50 B: 50
プロジェクタ設定	彩度	▶ 50
メニュー設定	シャープネス	▶ 16
電源設定	色調	▶ 50
情報	白の密度	▶ 10
	カラースペース	▶ YCbCr
	VGA 出力	▶ オフ

 解像度：720x480

**色温度**—色温度を調整できます。色温度を高くすると画面は寒色に、低くすると暖色になります。**RGB カラーの調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが有効になります。この値はカスタムモードで保存されます。

**RGB カラーの調整**—赤、緑、青を手動で調整できます。

**彩度**—ビデオソースをモノクロから最大飽和色まで調整することができます。 を押すと画像の色の量が減り、 を押すと画像の色の量が増えます。


**シャープネス**— を押すとシャープネスが上がり、 を押すとシャープネスが下がります。

**色調** —  を押すと画像の緑の量が減り、 を押すと画像の赤の量が増えます (NTSC のみ)。

**白の密度** —  および  を使用すると、白の密度を調整できます。

**カラースペース** — カラースペースを選択できます。選択肢は RGB、YCbCr、および YPbPr です。

**VGA 出力** — **オン** または **オフ** を選択すると、プロジェクタがスタンバイモードのときに VGA 出力機能を有効または無効にすることができます。デフォルトは **オフ** です。

 **メモ** : 色温度、RGB カラーの調整、彩度、シャープネス、色調、白の密度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的に **カスタム** に切り替わります。


## 画像設定 (入力ソースなし)

を押すと、画像設定が有効になります。画像設定メニューには、次のようなオプションがあります。






**VGA 出力** — **オン** または **オフ** を選択すると、プロジェクタがスタンバイモードのときに VGA 出力機能を有効または無効にすることができます。デフォルトは **オフ** です。



## 画面設定 (PC モード)

 を押すと、画面設定が有効になります。画面設定メニューには、次のようなオプションがあります。

詳細設定		Dell 1420X
画像設定	水平位置	▶ 50
画面設定	垂直位置	▶ 0
プロジェクタ設定	周波数	▶ 0
メニュー設定	追跡	▶ 7
電源設定	縦横比	▶ オリジナル
情報	ズーム	▶ X1
	ズーム ナビゲーション	▶ 押す ✓

 解像度 : 1440x1050

**水平位置** —  を押すと画像が左に動き、 を押すと右に動きます。



**垂直位置** —  を押すと画像が下に動き、 を押すと上に動きます。

**周波数** — ディスプレイ データのクロック周波数をコンピュータのグラフィックカードの周波数に合わせます。縦にちらつく波形が表示される場合は、**周波数**コントロールを使って大まかな調整を行ってください。

**追跡** — ディスプレイ信号の位相をグラフィックカードと同期させます。画像が不安定またはちらつく場合は、**追跡**を使って修正してください。これは微調整です。

**縦横比** — 縦横比を選択して画像の現れ方を調整します。

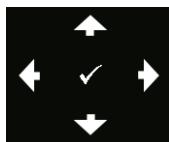
- オリジナル — オリジナルを選択すると、入力ソースに基づいて投写された画像の縦横比が維持されます。
- 16:9 — 16:9 スクリーン画像を投写ために、入力ソースが画面の幅に合わせてスケール化されます。
- 4:3 — 入力ソースが画面に合わせてスケール化され、4:3 画像が投写されます。

**ズーム** —  および  を押すと、画像にズームします。





リモコンで **Zoom+** または **Zoom-** を押して、画像のスケールを調整します。



**ズームナビゲーション**—ズームナビゲーションメニューを有効にするには、 を押します。

を使って投写スクリーンをナビゲートします。

## 画面設定 (ビデオモード)

を押すと、画面設定が有効になります。画面設定メニューには、次のようなオプションがあります。

詳細設定		Dell 1420X
画像設定	縦横比	▶ オリジナル
画面設定	ズーム	▶ X1
プロジェクタ設定	ズームナビゲーション	▶ 押す <input checked="" type="checkbox"/>
メニュー設定	3D ディスプレイ	▶ オフ
電源設定	3D 逆同期	▶ オフ
情報		

解像度 : 720x480

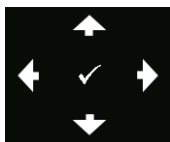
**縦横比**—縦横比を選択して画像の現れ方を調整します。

- **オリジナル**—オリジナルを選択すると、入力ソースに基づいて投写された画像の縦横比が維持されます。
- **16:9**—16:9 スクリーン画像を投写ために、入力ソースが画面の幅に合わせてスケール化されます。
- **4:3**—入力ソースが画面に合わせてスケール化され、4:3 画像が投写されます。

**ズーム**— および  を押すと、画像にズームします。



リモコンで **Zoom+** または **Zoom-** を押して、画像のスケールを調整します。



**ズームナビゲーション**—ズームナビゲーションメニューを有効にするには、 を押します。

を使って投写スクリーンをナビゲートします。


**3D ディスプレイ**—オンを選択すると、3D ディスプレイ機能が開始されます (デフォルトはオフです)。

#### **メモ:**

- 1 3D を楽しむには、次のようなコンポーネントが必要です。
  - a. 120 Hz 信号出力クワッド バッファ グラフィックカード搭載のコンピュータ/ラップトップ。
  - b. DLP Link 搭載のアクティブな 3D メガネ。
  - c. 3D コンテンツ。「メモ 4」を参照してください。
  - d. 3D プレーヤー (例: 立体プレーヤー...)
- 2 下記の条件に合う場合は、3D 機能が有効になります。
  - a. VGA ケーブルを介して 120Hz 信号を出力できるグラフィックカード搭載のコンピュータ/ラップトップ。
  - b. ビデオまたは S ビデオを介して 3D コンテンツスイートを入力する。
- 3 「3D ディスプレイ」プロジェクタが上記のような入力を検出した場合は、「詳細設定の画像の設定」メニューでしか選択肢が有効になりません。
- 4 3D サポートとリフレッシュレートは下記のとおりです。
  - a. VGA 1280 x 720 120 Hz、1024 x 768 120 Hz、800 x 600 120 Hz
  - b. コンポジット/S ビデオ 60 Hz
  - c. コンポーネント 480i
- 5 ラップトップに推奨される VGA 信号は、シングルモード出力です (デュアルモードはお勧めしません)。

**3D 逆同期**—DLP 3D メガネをかけているときに画像が繋がって見える、または重なって見える場合は、反転を実行して左/右画像シーケンスが最も合うように画像を修正する必要があるかもしれません。(DLP 3D メガネ)

## プロジェクタ設定

 を押すと、プロジェクタ設定が有効になります。プロジェクタ設定メニューには、次のようなオプションがあります。

詳細設定		Dell 1420X
画像設定	自動ソース	▶ オフ
画面設定	プロジェクタモード	▶ 正面
<b>プロジェクタ設定</b>	スピーカー	▶ オン
メニュー設定	キャプションを閉じる	▶ オフ
電源設定	起動画面	▶ Dell
情報	高地対応モード	▶ オフ
	テストパターン2	▶ オフ
	工場出荷状態に戻す	▶ 押す ✓

 解像度 : 1440x1050


**自動ソース** —現在の入力信号をロックするために **オフ**（デフォルト）を選択します。**自動ソース** モードが **オフ** に設定されているときに「ソース」ボタンを押すと、手動で入力信号を選択することができます。**オン** を選択すると、有効な入力信号を自動検出します。プロジェクタがオンのときに **ソース** ボタンを押すと、次に有効な入力信号が自動的に検出されます。

**プロジェクタモード** —プロジェクタをどのようにして無音にするかによって、プロジェクタのモードを選択できます。

- 正面 —これはデフォルトのオプションです。
- 天井前面投写 —プロジェクタが天井に取り付けられるため画像を上下逆さまに投写します。
- 背面 —デスクトップ —プロジェクタが反対側の透明スクリーンから投写できるように、画像を反転させます。
- 天井リア投写 —画像を上下逆さまに投写します。天井に取り付けても、透過スクリーンの裏側から投写することができます。

**スピーカー** —**オン** を選択すると、スピーカーが有効になります。**オフ** を選択すると、スピーカーが無効になります。





**キャプションを閉じる** —**オン** を選択してクローズ キャプションを有効にし、閉じたキャプションメニューをアクティベートさせます。適切なクローズ キャプション オプションを選択してください。CC1、CC2、CC3、および CC4 です。

 **メモ**：キャプションを閉じるオプションは NTSC でしか有効にできません。

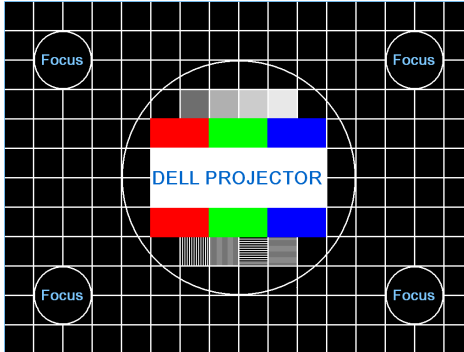
**起動画面** —デフォルトでは壁紙として Dell のロゴを使用します。

**高地対応モード** —高度 1500 m から 3000 m の範囲では、このモードをオンにしてください。

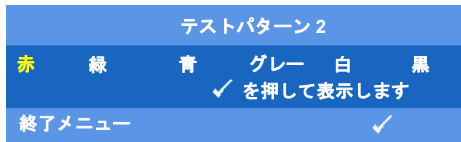
**テストパターン 2**—焦点や解像度をテストするためにパターンが使用されます。

オフ、1 または 2 を選択して、**テストパターン 2** を有効または無効にします。コントロールパネルの  ボタンおよび  ボタンを 2 秒間同時に押したままにすると、**テストパターン 1** が呼び出されます。コントロールパネルの  ボタンおよび  ボタンを 2 秒間同時に押したままにすると、**テストパターン 2** が呼び出されます。

テストパターン 1



テストパターン 2



**工場出荷状態に戻す** —  を押すと、下の警告メッセージが表示され、すべての設定が工場出荷時の値に戻されます。


初期値に戻す

コンピュータ ソースとビデオ ソースの両設定を含め、アイテムがリセットされます。

## メニュー設定

を押すと、メニュー設定が有効になります。メニュー設定には次のオプションがあります。

詳細設定		Dell 1420X
画像設定	メニュー位置	▶ 中央
画面設定	メニューのタイムアウト	▶ 20 秒
プロジェクタ設定	メニューの透明度	▶ 0
<b>メニュー設定</b>	メニュー ロック	▶ オフ
電源設定	パスワード	▶ 無効
情報	パスワードの変更	▶ 押す ✓

 解像度 : 1440x1050

**メニュー位置** — スクリーン上の OSD メニューの位置を調整します。

**メニューのタイムアウト** — OSD タイムアウトの時間を調整できます。デフォルトでは、無動作状態が 20 秒間続くと OSD が消えます。

**メニューの透明度** — OSD 背景の透過レベルを変更します。


**メニュー ロック** — オンを選択すると、メニュー ロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択してメニュー ロックを無効にします。メニュー ロック機能を無効にして、OSD を表示したい場合は、コントロール パネルまたはリモコンで [メニュー] ボタンを 15 秒間押してこの機能を無効にします。


**パスワード**—パスワード保護が有効になっているときには、電源プラグをコンセントに差し込み、プロジェクタに初めて電源を入れると、パスワードの入力を求める画面が表示されます。デフォルトにより、この機能は無効になっています。この機能は「有効」を選択すると有効になります。すでにパスワードが設定されている場合は、まずパスワードを入力してからこの機能を選択します。次回プロジェクタに電源を入れると、このパスワード機能が有効になります。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れた後プロジェクタのパスワードを入力するよう求められます。

1 初回のパスワード入力要求：

- a **メニュー設定**：メニューを選択し、 を押した後、パスワードを選択してパスワードの設定を**有効**にします。

詳細設定		Dell 1420X
画像設定	メニュー位置	✓ 無効
画面設定	メニューのタイムアウト	<b>有効</b>
プロジェクタ設定	メニューの透明度	削除
メニュー設定	メニュー ロック	
電源設定	パスワード	
情報	パスワードの変更	

 解像度：1440x1050

- b パスワード機能を有効にすると、文字画面が表示されますので、この画面を使って4ケタの数字を入力して  を押します。


新しいパスワードを入力してください。

パスワード (4 文字) :

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	Enter	終了	

> < ✓ ^ 選択  
PPID CN-0R3KXG-S0081-137-0004  確認

- c 確定するためにもう一度パスワードを入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とそのユーティリティにアクセスできるようになります。
- 2 パスワードの入力を間違えると、後2回入力するチャンスがあります。3回パスワードを間違えると、プロジェクタは自動的にオフになります。

 **メモ:** パスワードを忘れてしまった場合は、DELL または専門の技術者にお問い合わせください。

- 3 パスワード機能を無効にするには、**無効** を選択します。
- 4 パスワードを削除するには、**削除** を選択します。

**パスワードの変更** 元のパスワードを入力した後で新しいパスワードを入力し、もう一度新しいパスワードを確定します。

元のパスワードを入力してください。

パスワード (4文字) :

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	Enter	終了	

PPID CN-0R3KXG-S0081-137-0004

> < ✓ ⤴ 選択  
☑ 確認

新しいパスワードを入力してください。

パスワード (4文字) :

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	Enter	終了	

PPID CN-0R3KXG-S0081-137-0004

> < ✓ ⤴ 選択  
☑ 確認

もう一度新しいパスワードを入力してください。

パスワード (4文字) :


A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	Enter	終了	

PPID CN-0R3KXG-S0081-137-0004


> < ✓ ⤴ 選択  
☑ 確認




## 電源設定

 を押すと、電源設定が有効になります。電源設定メニューには次のオプションがあります。

詳細設定		Dell 1420X
画像設定	クイック シャットダウン ▶	オフ
画面設定	省エネ ▶	10 分
プロジェクタ設定	ランプモード ▶	ノーマル
メニュー設定	ランプ時間のリセット ▶	押す ✓
<b>電源設定</b>		
情報		

 解像度 : 1440x1050

**クイック シャットダウン—オン** を押すと、1回 **電源** ボタンを押すだけでプロジェクタをオフにすることができます。この機能を使用すると、プロジェクタのファン速度を加速してすばやく電源を切ることができます。クイック電源オフを行うと、ファンのノイズが発生します。

 **メモ** : 再びプロジェクタをオンにするには、60 秒待つて内部温度を安定させてください。すぐに電源を入れようとすると、オンにするまでに時間がかかります。冷却ファンがフルスピードで約 30 秒作動して、内部温度を安定させます。

**省エネ—オフ** を選択すると、省エネモードが無効になります。デフォルトにより、10 分間無作動の状態が続くと、プロジェクタは省エネモードに入ります。省エネモードに入る前に、60 秒間のカウントダウンが表示されます。カウントダウン中にキーボタンをどれでも押すと、省エネモードから回復します。

省エネモードに入るまでの時間を変えることもできます。この時間は無作動の状態が続きプロジェクタが省エネモードに入るまでの時間のことです。省エネモードに入るまでの時間は、30、60、90、120 分の中から選択できます。

この待ち時間内に入力信号が検出されなければ、プロジェクタはランプを消し、省エネモードに入ります。この待ち時間内に入力信号が検出された場合は、自動的にオンになります。省エネモードに入ってから2時間以内に入力信号が検出されなかった場合は、プロジェクタは省エネモードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには、電源ボタンを押します。


**ランプモード**—ノーマルモードまたはECOモードのいずれかを選択できます。

ノーマルモードはフル電力で作動します。ECOモードでは低電力で作動します。この場合はランプの寿命が延長され、操作音も静かで、スクリーンの輝度も低くなります。

**ランプ時間のリセット**— を押して、**確認** オプションを選択し、ランプ時間をリセットします。

## 情報

情報メニューには現在のプロジェクタ設定が表示されます。

詳細設定		Dell 1420X	
画像設定	モデル名	:	1420X
画面設定	稼働時間	:	2 時間
プロジェクタ設定	PPID	:	CN-0R3KXG-S0081-137-0004
メニュー設定			
電源設定			
<b>情報</b>			
 解像度 : 1440x1050			

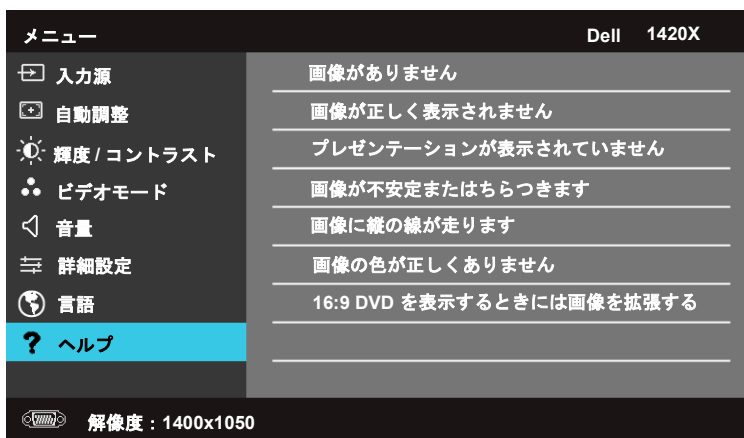
## 言語

OSD の言語を設定できます。言語メニューを有効にするには、 を押します。



## ヘルプ

プロジェクタの問題を解決できない場合は、ヘルプメニューを開いてトラブルシューティングをお読みください。

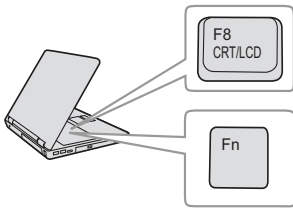


# プロジェクタのトラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください（Dell™ へのお問い合わせはページ 58 をご覧ください）。

## 問題

画面に画像が表示されない。



## 解決方法

- レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。
- 「**入力源**」が OSD メニューで正しく設定されていることを確認します。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は **Fn** **F8** (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。コンピュータからくる出力信号が業界標準に従っていません。この場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードします。Dell コンピュータの場合、[support.dell.com](http://support.dell.com) を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。8 ページの「プロジェクタの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください（50 ページの「ランプの交換」をご覧ください）。
- **テストパターンメニューのその他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。

入力ソースが見つかりません。特定の入力ソースに切り替えることができません。



特定の入力ソースが「有効」に設定されていることを確認します。

---

### 問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。

### 解決方法 (続き)



- 1 リモコンまたはコントロールパネルの**自動調整** ボタンを押します。
- 2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を XGA (1024 x 768) に設定します。
  - a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、**プロパティ** をクリックし、**設定** タブを選択します。
  - b 外部モニターポートの設定が 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。
  - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、コンピュータの取扱説明書をお読みください。コンピュータからくる出力信号が業界標準に従っていません。この場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードします。Dell コンピュータの場合、[support.dell.com](http://support.dell.com) を参照してください。

---

画面にプレゼンテーションが表示されない。

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

---

画像が不安定、または、ちらつく。

OSD 表示サブメニューでトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

---

画像に縦線が入る。

OSD 表示サブメニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。

---

画像の色が正しくない。

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD 表示 タブで信号の種類を RGB に設定してください。
- テストパターンメニューの**その他**を使ってください。テストパターンの色が正しいことを確認します。

<b>問題 (続き)</b>	<b>解決方法 (続き)</b>
画像の焦点が合わない。	<p>1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。</p> <p>2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (3.28 ft [1 m] ~ 39.37 ft [12 m])。</p>
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の <b>設定</b> メニューで縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する。	OSD で <b>プロジェクタ設定</b> を選択し、投影モードを調整します。
ランプが切れた、または、音がする。	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、50 ページの「ランプの交換」を参照してください。</p>
<b>ランプ</b> ライトがオレンジ色で点灯	<b>ランプ</b> ライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。
<b>ランプ</b> ライトがオレンジ色で点滅	<p><b>ランプ</b>のライトがオレンジ色に点滅する場合は、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p><b>ランプ</b>と <b>電源</b>ライトがオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p><b>ランプ</b>および<b>温度</b>ライトがオレンジ色で点滅し、<b>電源</b>ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、[電源] ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>
<b>温度</b> ライトがオレンジ色で点灯	<p>プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
<b>温度</b> ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。 <b>電源</b> ボタンを 15 秒間押し続けることで、プロジェクタの保護モードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されない。	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押し、OSD のロックを解除します。ページ 37 で <b>メニューロック</b> を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。その場合は、同じタイプの電池か、メーカーが推奨する同等タイプの電池と交換してください。

# ガイド信号

プロジェクトステータス	説明	コントロールボタン		インジケータ	
		電源	メニュー	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	青色	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。 ☑ <b>メモ</b> : OSD メニューにアクセスしていません。	青色	青色	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	青色	オフ	オフ	オフ
省電力モード	省電力モードが有効です。2 時間以内に入力信号が検出されないと、プロジェクトは自動的にスタンバイモードになります。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ	オフ
省電力モード前の冷却	プロジェクトは、省電力モードになる前に 60 秒間冷却します。	オレンジ色	オフ	オフ	オフ
プロジェクトが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35°C を超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オフ	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3 分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オフ	オレンジ色 点滅
ランプモジュール接続エラー	ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色 点滅



カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクタが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	青色	オフ	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅
ランプエラー	ランプが故障しています。ランプを交換してください。ランプの寿命が切れようとしています。	オフ	オフ	オフ	オレンジ色
OSD オン	プロジェクタの OSD が表示されているとき。	青色	青色	オフ	オフ

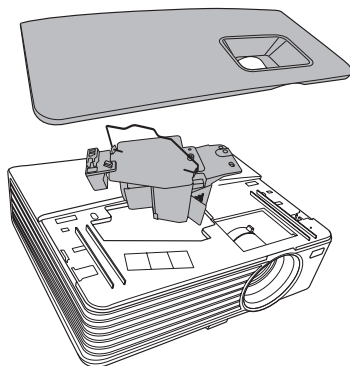
## ランプの交換

- ⚠ 危険:** この章で説明する交換処理の前に、ページ 6にある「安全上のご注意」をお読みください。
- ⚠ 危険:** オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。
- ⚠ 危険:** ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。
- ⚠ 危険:** 電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。
- ⚠ 危険:** ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは [www.dell.com/hg](http://www.dell.com/hg) をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定しているネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定しているネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

**📌 メモ:** Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定するネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。
- 9 **電源設定のランプ時間のリセットを「確認」することにより、ランプの使用時間をリセットします** (41 ページの「電源設定」をお読みください)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。





**危険：ランプの廃棄（米国のみ）**

ⓂHg 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、**WWW.DELL.COM/HG**、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト **WWW.EIAE.ORG** をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については **WWW.LAMPRECYCLE.ORG** をご覧ください。

## 仕様

ライトバルブ	0.55" XGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	1420X : 2700 ANSI ルーメン (最大) 1430X : 3200 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2400:1 最小 (フルオン / フルオフ)
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1024 x 768 (XGA) 4:3 縦横比
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ : F/2.54~2.73 焦点距離、f=18.18~21.84 mm 1.2 倍マニュアルズームレンズ 投影比 =1.64~1.97 ワイドおよび望遠 110% オフセット
投影画面サイズ	38~180 インチ (対角線)
投影距離	3.28~26.24 ft (1 m~8 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ : NTSC (M、3.58、4.43)、PAL (B、D、G、H、I、M、N、4.43)、SECAM (B、D、G、K、K1、L、4.25/4.4) コンポーネントビデオ (VGA 経由) 1080i/p、720p、576i/p、480i/p
電力供給	ユニバーサル AC90-264 50/60 Hz、PFC 入力付き

消費電力

1420X :

通常モード : 305W ± 10% @ 110Vac

エコモード : 265W ± 10% @ 110Vac

スタンバイモード : <0.5W

1430X :

通常モード : 368W ± 10% @ 110Vac

エコモード : 305W ± 10% @ 110Vac

スタンバイモード : <0.5W

オーディオ

スピーカー x1、2 W RMS

ノイズレベル

1420X :

33 dB (A) ノーマルモード、29 dB (A) エコモード

1430X :

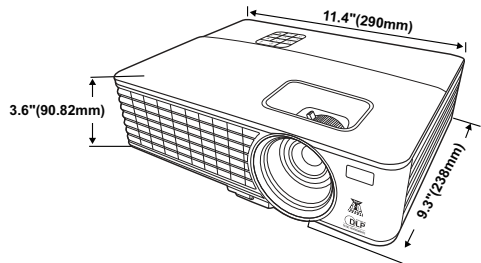
36 dB (A) ノーマルモード、32 dB (A) エコモード

質量

5.7 lbs (2.6 kg)

寸法 (幅 x 高さ x 奥行)

11.4 x 3.6 x 9.3 インチ (290 x 90.82 x 238 mm)



環境条件

動作温度 : 0 °C ~ 35 °C (32 °F ~ 95 °F)

湿度 : 90% 最大

保管温度 : -30 °C ~ 65 °C (-22 °F ~ 149 °F)

湿度 : 90% 最大

輸送温度 -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F)

湿度 : 90% 最大

I/O コネクタ

電源 : 1つの AC 電源ソケット (3ピン ~C14 インレット)

VGA 入力 2つの 15ピン D-sub コネクタ (青)、  
VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/コンポーネント入力信号用)

VGA 出力：1 つの 15 ピン D-sub コネクタ（黒）  
（VGA-A ループスルー用）。

S ビデオ入力：1 つの標準 4 ピン ミニ -DIN S ビデオコネクタ（Y/C 信号用）。

コンポジットビデオ入力：1 つの黄色 RCA ジャック（CVBS 信号用）

アナログオーディオ入力：1 つの 3.5mm ステレオミニ電話ジャック（緑）。

固定オーディオ出力：1 つの 3.5mm ステレオミニ電話ジャック（青）。

Mini USB（タイプ B）ポート：リモートサポート用 Mini USB（タイプ B）スレーブ x 1。

RS232 ポート：9-pin D-sub コネクタ x 1

## ランプ

1420X：

Osram 190 ワットユーザ交換可能ランプ  
（通常モードで最大 4,500 時間 / エコモードで最大 6,000 時間）

1430X：

Osram 240 ワットユーザ交換可能ランプ  
（通常モードで最大 3,000 時間 / エコモードで最大 5,000 時間）



**メモ：**プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

## 互換モード（アナログ/デジタル）

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
720 x 400	720x400_70	70.087	31.469	28.3221
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.5
	VGA_75	75	37.5	31.5
	VGA_85	85.008	43.269	36
800 x 600	SVGA_56	56.25	35.156	36
	SVGA_60	60.317	37.879	40
	SVGA_72	72.188	48.077	50
	SVGA_75	75	46.875	49.5
	SVGA_85	85.061	53.674	56.25
	SVGA_120* (Reduce Blanking)	119.854	77.425	83
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65
	XGA_70	70.069	56.476	75
	XGA_75	75.029	60.023	78.75
	XGA_85	84.997	68.667	94.5
	XGA_120* (Reduce Blanking)	119.989	97.551	115.5
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108
1024 x 576		60	35.82	46.966
1024 x 600		64.995	41.467	51.419
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.5
	WXGA_75	74.934	62.795	106.5
	WXGA_85	84.88	71.554	122.5
	WXGA_120* (Reduce Blanking)	119.909	101.563	146.25
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108
	SXGA_75	75.025	79.976	135
	SXGA_85	85.024	91.146	157.5
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.5
1366 x 768	1366 x 768_60	59.79	47.712	85.5

1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.5
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.75
1600 x 1200	UXGA	60	75	162
1680 x 1050	1680x1050_60	59.954	65.29	146.25
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35	30.24
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.28
1024 x 768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100

メモ：\* フレームシーケンシャルフォーマットでの3D信号のタイミング。

### 互換モード (YPbPr)

解像度	モード	リフレット シュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・ クロック (MHz)
720 x 480	480i	59.94	15.73	13.5
720 x 480	480p	59.94	31.47	27
720 x 576	576i	50	15.63	13.5
720 x 576	576p	50	31.25	27
1280 x 720	720/50p	50	37.5	74.25
1280 x 720	720/60p	60	45	74.25
1920 x 1080	1080/24P	24	27	74.25
1920 x 1080	1080/25P	25	28.13	74.25
1920 x 1080	1080/30P	30	33.75	74.25
1920 x 1080	1080/50i	50	28.13	74.25
1920 x 1080	1080/60i	60	33.75	74.25
1920 x 1080	1080/50P	50	56.25	148.5
1920 x 1080	1080/60P	60	67.5	148.5



### 互換モード (ビデオ / Sビデオ)

ビデオモード	fh (kHz)	fv (Hz)	fsc (MHz)
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	50	4.43
SECAM	15.63	50	4.25 または 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	50	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

## Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



**メモ:** インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 support.dell.com をご覧ください。
- 2 ページ下部の **Choose A Country/Region** [ **国/ 地域の選択** ] ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 ページ左側の **Contact Us** [ **連絡先** ] をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 Dell への連絡方法を選択します。

## 付録：用語集

**ANSI ルーメン**— 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

**縦横比**— 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

**明るさ**— ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

**色温度**— 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

**コンポーネントビデオ**— 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

**コンジットビデオ**— ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

**圧縮解像度**— 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

**コントラスト比**— 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 **フルオン/オフ**— 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 **ANSI**— 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

**dB**— デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

**対角画面** — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9FT 高さ、12FT 幅の画面の対角線は 15FT です。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

**DLP**<sup>®</sup>— Digital Light Processing<sup>™</sup> (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD と呼ばれます。

**DMD**— digital Micro- Mirror Device— 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

**焦点距離** — レンズの表面からその焦点までの距離。

**周波数** — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

**Hz (ヘルツ)** — 周波数の単位。

**キーストーン補正** — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

**最大距離** — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

**最大画像サイズ** — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

**最小距離** — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

**NTSC**— National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

**PAL**— Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

**画像の反転** — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

**RGB**— Red, Green, Blue (赤、緑、青) — 3 色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

**S ビデオ** — 4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス (明るさ、Y) とクロミナンス (色、C) と呼ばれる 2 本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C と呼ばれます。

**SECAM**— ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

**SSID** — サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

**SVGA**— Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

**SXGA**— Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

**UXGA**— Ultra Extended Graphics Array (超拡張グラフィックスアレイ) —1600 x 1200 ピクセル。

**VGA**— Video Graphics Array (ビデオグラフィックスアレイ) —640 x 480 ピクセル。

**XGA**— Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

**ズームレンズ** — 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

**ズームレンズ比** — レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

# インデックス

## D

Dell への

お問い合わせ 58

Dell へのお問い合わせ 5, 46

## R

RS232 コントロールポート 8

## あ

オンスクリーンディスプレイ 25

メインメニュー 25

## か

クイック シャットダウン 41

コントロールパネル 19

## さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 58

セキュリティ設定 42

## た

トラブルシューティング 44

Dell へのお問い合わせ 44

## は

プロジェクタのズームと  
フォーカスの調整 16

ズームタブ 16

フォーカスリング 16

プロジェクタの接続

S ビデオケーブル 11

S ビデオケーブルでの接続 11

USB - USB ケーブル 9

VGA - VGA ケーブル 9, 10

VGA - YPbPr ケーブル 13

コンピュータへ 9

コンポーネントケーブルでの  
接続 13

コンポジットケーブルでの  
接続 12

コンポジットビデオ  
ケーブル 12

電源コード 9, 10, 11, 12, 13

プロジェクタの電源を入れる /  
切る

プロジェクタの電源を切る 14

プロジェクタの電源を  
入れる 14

## ま

メニュー タイムアウト 37

メニューの透明度 37

## ら

ランプの交換 50

リセット 初期値 37

リモートコントロール 21

リモコン

IR レシーバ 19

## 仕様

I/O コネクタ 53

オーディオ 53

カラーホイール速度 52

コントラスト比 52

ノイズレベル 53

ビデオ互換性 52

ライトバルブ 52

画素数 52

環境条件 53

均質性 52

質量 53

消費電力 53

寸法 53

電力供給 52

投影レンズ 52

投影画面サイズ 52

投影距離 52

表示可能な色 52

明るさ 52

省エネ 41

接続ポート

Mini USB-B リモート  
コネクタ 8

S ビデオコネクタ 8

VGA-A 出力 (モニタールー  
プスルー) 8

VGA-A 入力 (D サブ)  
コネクタ 8

VGA-B 入力 (D サブ)  
コネクタ 8

オーディオ出力コネクタ 8

コンポジットビデオ  
コネクタ 8

電源コードコネクタ 8

電話番号 58

投影画像の調整 15

プロジェクタの高さ調整 15

プロジェクタを下げる  
エレベーターフット 15  
昇降ボタン 15

本体 6

IR レシーバ 6

コントロールパネル 6

ズームタブ 6

フォーカスリング 6

レンズ 6